

ふるさとの鼓動
北に生きる心
むすんで

こぶし

第 146 号

2017年 8月18日発行

発行責任者：横井 正人

編集：機関紙局

特定非営利活動法人 民族歌舞団 こぶし座

北海道函館市陣川町 122-172

TEL/FAX: 0 1 3 8 - 5 4 - 2 8 5 9

年 2 回発行

E-mail: kobusiza@wing.ocn.ne.jp

http://kobusiza.sakura.ne.jp/

主な内容

- (1) 一般公演の紹介…寄稿
- (2) 前半期の公演から (寄稿)
- (3) 第19回通常総会の報告
- (4) 公演計画(7月以降)ほか

=ホームページにカラー版を掲載中!=

新型コースターでの初公演
7月：標津町・小学校公演
函館から、646Km!!
高速を使っても10時間ほど。
北海道の広さを実感する…。
だからこそ、
今年も全力で頑張るぞ！



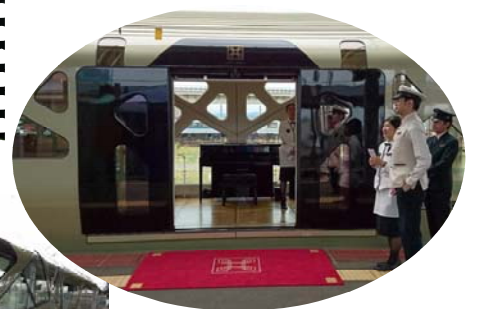
台湾 オープニングセレモニーの様子
<6月1日～3日>
工藤市長と一緒に函館からの直行便で！



釧路 踊り講習(どんぐりの家保育園の保育士たち)



台湾 物産展会場での演奏風景



これが、
JR東日本の豪華寝台列車-
「TRAIN SUITE 四季島」です!!
お客様の出入口は、10両編成の
真ん中-5号車から。
正面に生伴奏用のピアノが…。



JR「四季島」…老舗レストラン「五島軒」での演奏



暑中お見舞い

申し上げます。

みなさま、いかがお過ごしでしょうか？
今年、かつて無い異常気象で局地的な甚大被害が発生し
家屋の流出や浸水、尊い命まで犠牲となってしまいました。
また、農作物にもかなりの影響がおよび、心痛む状況です。
被災された皆様には、一刻も早い救援の手が届きますこと
を心より願っております。

今年度の「こぶし座」は、「特別事業」①JR東日本が運行
する豪華寝台列車「四季島」のツアー客へ向けての演奏と、
②台湾での「函館物産展」(函館市と商工会議所の主催事業)
を計画(実施)致しました。

この台湾での催しは、今年2月に商工会議所からの依頼で
行った「謝駐日大使・歓迎の集い」での演奏がきっかけとなり
実現に至ったもので、6月1日～3日に工藤壽樹函館市長と
久保俊幸函館商工会議所会頭らと共に台湾に赴き、遠東百貨
店という大きなデパートで行われたオープニングセレモニー
(300名超)と物産展会場(3回実施)での演奏でした。

また、JR「四季島」ツアー客に向けての演奏は、アイヌ
民族の歌や踊りを、5月2日～11月28日までの毎週火曜日に
地元のお舗レストラン「五島軒」(王朝の間)で行っているも
ので、毎回、定員34名のお客様方にご覧頂いています。

このように、今年には地元での活動が一つの柱となっており、
恒例の陣川あさひ町会「納涼まつり」はもとより、八雲町で
の「ふれあい広場」(社会福祉協議会主催)など、様々な催し
にも数多く参加していきたいと考えております。

さて、ここで報告とお願いがございます。実は、今年3月
の稚内市公演の帰路、十年間にわたり使用してきた公演車が
致命的な故障をおこし、やむを得ず新しい車(マイクロボス)
に更新を致しました。

4月より、「こぶし座後援会」の皆さんの力強い応援で募金
活動が展開されておりますが、支持者の方々のご協力を心よ
り訴え、お願い申し上げます。

ご支援のほど、よろしくお願致します。
これから一層暑い日が続きます。どうぞ、お元気で!!

一般公演の取り組みから

今年度は、特別事業の実施が4月からだった為、前半期(春期)の一般公演は、俱知安町での開催にとどまりました。

取組みについて、主催した俱知安町文化協会の堀会長さんに寄稿頂きましたので紹介します。

こぶし座
俱知安町文化協会
会長 堀敏久

公演最後のステージ「おはなし『浜の母ちゃん』は、津軽の嫁こ』」が終わり、会場お

れんばかりの拍手で今回の公演が終了し、会場から出られるお客さんは一様に満足された表情で「やアよかったよ、楽しかったね」と、声をかけていただきました。

今回の公演に当たっては、毎年開催している文化協会企



会場を後にする、観客の長蛇の列！

画事業の規模としては少しコンパクト過ぎないかとの意見や心配もありましたが、出演者皆さんの熱演によりすべての演目がお客様に満足いただいたものと思います。

*

公演のメインでもある「浜の母ちゃん」の津軽弁での語りは、関わりのある多くのお客さんが経験された様々な思いが募り、心に響いたのではないかと思います。

アイヌの歌や踊りはこぶし座が、各地のアイヌ文化保存会を訪ねて学んだなかから歌や踊り・衣装・生活などを表現されましたが、先住民族であるアイヌ文化の一端を勉強し、会場と一体となって歌を共感しあえたこと、また大漁・豊作・商売繁盛を願って踊られるコミカルな目出度い芸に酔い、そして二頭の獅子舞は無病息災を願って会場いっぱいには舞い上がり、お客さんの気分も最高潮となりました。



おはなし『浜の母ちゃんは、津軽の嫁こ』

その土地、地域に存在する民族芸能・郷土芸能などは時代と共に消え去ったものもありますが、伝承にはその保存に要する地域力が必要となります。こぶし座がモットーとしている「伝統芸能の継承・創造、普及を行うこと」を通じて、地域文化の発展と向上をはかり、もって文化・芸術の振興に寄与する」との目的に、私達文化協会が行う事業としても最も相応しいものと今回の公演を企画しましたが、まさにその思いが通じた公演となりました。

* * *

俱知安町に於いての一般公演は十八年ぶりということで、懐かしく思われたお客様も多く、予想外の募金があったことなど、大成功であったとの思いと、公演の機会に恵まれたことに感謝申し上げます。

第19回「通常総会」開かれる。

一昨年・昨年の経験を生かし、特別事業を成功させよう。そして、地元での活動を意識的に実施しよう!!

さる、四月二十九日(土) 第十九回通常総会」が行われました。社員総数十七名、出席数十二名。横井理事長の挨拶の後、開会となりました。

*

第一号議案「二〇一六年度事業報告」では、特別事業として位置付けた三つの取り組みの結果を確認し、どれもが感動的で成功だったこと、また、一般公演など百二十回(二五、一九二人)の公演・講座を行ったこと、毎年実施の函館市アウトリーチ事業―講師活動のことなどが報告されました。

第二号議案「二〇一六年度収支決算報告」では、再招聘を受け実施したソウル公演に対し、前回以上に多額の支援が寄せられたことをバネに、社員が後援会と一体となって事業を展開させ、感動を力に活動してきたことが報告されました。

続いて、金城公雄監事より「監査報告」が行われ、座の事業活動の内容にふれながら財政状況の実情等について、丁寧な説明がなされました。

第三号議案「二〇一七年度事業計画」では、昨期同様、特別事業を実施する提案がおこなわれました。その内容は

- ・JR東日本の豪華寝台列車「四季島」ツアー客への演奏。
- ・台湾「函館物産展」イベント演奏―以上二つです。

このように、地元での活動も柱の一つに据えました。

第四号議案「二〇一七年度収支予算」では、公演車の故障に伴う更新案等が提案され社員からの様々な意見や質問が出され議論が深まり、結果後援会の協力を受けながら、挑戦でいこうとなりました。以上、全議案が承認され審議を終わりました。

特別事業IIについて

*JR東日本の豪華寝台列車「四季島」ツアー客への演奏。

「函館アイヌ協会」の加藤会長の挨拶を受けて、約30分間の公演を行っています。

「四季島」ツアーのお客様に、アイヌ民族の伝統文化の一端を紹介できることの喜びと責任を感じています。

これまで、様々なことを教え導いて下さったアイヌの方々への感謝の気持ちを、歌や踊りに託し、心を込めて丁寧に演じて行きたいと思っています。

5月2日〜11月28日までの毎週火曜日。

- <演目内容>
- ・トンコリ 合奏
 - ・ウパシクマ 草の話し
 - ・ムックリ 演奏
 - ・弓の舞
 - ・ウポポ
- チュブカワカムイラン
ハンレハンレ
ウタレオブンパレワ

*台湾「函館物産展」

(遠東百貨店イベント演奏) 行政・経済界の方々と共に、地域経済(観光・物産事業)発展のために少しでも寄与できましたことを嬉しく思っています。

関係者の皆さん、ありがとうございました。 6月1日〜3日にかけて、函館空港からの直行便(エアー航空)で赴き、函館の物産をPRして来ました。

尚、台湾「函館物産展」は、報告用DVDを作成しましたので希望の方はこの一報を!!



函館アイヌ協会・加藤会長、荒城副会長と

前半期の公演から：

今年度の前半期は、学校公演・保育園公演から始まり、先生たちお二人からの寄稿を紹介します。

たくさんのお子さん
魅了した民族芸能
学校公演を終えて

室蘭市立八丁平小学校
教諭 吉田義彦

「こぶし座」が、勤務校に
来てくれました。退職まで
と1年。学校公演を見るのも
最後かも知れません。だから
気分はスタンプ。朝6時過ぎ
から公演車が着くのをいそい
そ待ち受けていました。「あ
あ、来た来た」と少年のよう
にホクホクしている自分(笑)

児童数が多いため、低学年
は午前、高学年が午後と2部
公演。昼休み、中庭で6年生
が、すでに鑑賞を終えた3年
生に「どうだった?」と見た
感想を聞いていました。「う
ん、けっこう笑えるところも
あって、たのしかった」と好
評価。いいじゃないですか!
私はこの6年生と一緒に午後
の部を鑑賞しました。

いつもの公演メンバーが、見
せる、魅せる。夏休み前の蒸
し暑い体育館なのだが、集中
度も参加意欲も満点!

アイヌの楽器や踊り、沖縄
のエイサーなど、授業で聞い
たことがあっても、その息づ



獅子舞に大興奮の児童たち

かいは初めて体験するので
す。知識が舞台上で生きて動き
出した気分なのでしょう。そ
して、エンディングの獅子舞
の興奮。一頭の獅子の所作に
想像を膨らませて一喜一憂、
子どもたちの気持ちすべて
が、舞台にのせられていまし
た。

「こぶし座」は大地に生き
る人々の中で育まれてきた芸
能を、その歴史とともに、た
しかに学び「繋ぐ」ことに徹
しています。下世話で媚びた
笑いも華美さもありません。
その潔さが良い。生活が育ん
だありのままの伝統芸能が、
子どもたちの魂(民族の心)
を、そつとなぜしたようです。
ある6年生が、「6年間の芸
術鑑賞を見た中で、今回のこ
ぶし座が一番よかった」と感
想を書いていました。

ありがとうございます、「こぶし座」
さん。

こぶし座に寄せる

治水どんぐりの家保育園
園長 北構和代

こぶし座さんと治水どんぐ
りとの出会いは、2年前の釧
路公演でした。若い先生が2
名、公演を成功させるために
実行委員になってくれたこと
がきっかけです。活動を通し、

こぶし座さんや実行委員の皆
さんの熱い思いに触れ、とて
も刺激を受けました。そして、
実行委員を務めた若い先生た
ちの本物の文化に触れたい、
学びたい、という吸収力にも
感動をし、文化を通して人と
人とつながり、老いも若き
も(笑)共に元気をもらった釧
路公演でした。

そんなつながりから、昨年
は2人の先生たちが、座を訪
れソーラン節や寄せ太鼓を学
び、そして今年、念願の保
育園公演が実現しました!

当日は、ホールに太鼓が運
ばれるのを見ながら、期待一
杯の子どもたち。そして、楽
しい笛と鉦の音、太鼓に惹き
つけられ始まった公演。子ど
もたちも身を乗り出して太鼓
の響きを体で感じたり、踊り
の手さばきに感動したりと、



昭和・治水どんぐりの家保育園の保育士たちと

こぶし座さんが全身で伝えて
くれたものを、全身で感じ取
っている様でした。こぶし座
さんの公演は、統制されたも
のを見せるのではなく、労働
や生活から生まれた文化を大
切に伝えてくれている。だか
ら、本当の楽しさや力強さが
伝わってくるのです。そんな
豊かな楽しさを、みんなで共
有できた時間でした。

素晴らしい公演をありがと
うございました。また釧路に
来てくださいね。年中児が、
来年は一緒に太鼓を叩けると
楽しみにしています。

*保育園公演に先がけて、同じ
法人の「昭和どんぐりの家保
育園」と合同でソーラン節の講習
会を7月14日に行いました。

限られた時間で覚えようと
汗を流す若い皆さんから、元氣
な「ワー」を頂きました!!
釧路が一層近づきました。

4月22日、「函館イランカラフテの会」作品展が
15周年を記念して開かれ、お祝いにかけつけました。
会の代表を務める鈴木さんの想いをお伝えします。

作品展を終えて

函館イランカラフテの会
鈴木ミチ

アイヌ刺しゅうの美しい文
様に魅せられて、仲間と一緒
に活動を始めて今年で15年。
その節目にと「アイヌ刺し
ゅう作品展」を4月に市芸術
ホールギャラリーで開催いた
しました。

アイヌ刺しゅうの着物など
実際に近くで見たり、手に触
れたりする事の少ない昨今、
着物の試着や作り方の詳しい
説明でアイヌ文様をよく知っ
てもらう事ができました。

中でも、アイヌ刺しゅうの作
品にぐると囲まれたその会
場で演じられた、こぶし座さ
んのムックリ、トンコリの演
奏、歌や踊りは素晴らしく、
魂が揺さぶられるようです。
ありがとうございます。

アイヌの着物を1枚作るに
は、何種類もある基本技法や
独特な文様の持つ意味などを
理解しながら、くり返し小さ
な作品を作り続けて、すべて
の技術をマスターするまで4
5年はかかります。根気と
アイヌ刺しゅうへの熱意が無
いとできません。

今、仲間2人が初めての着
物を作り始めました。完成ま
では3ヶ月から半年はかかり
ますが、憧れていたアイヌの
着物を作る喜びは顔にも表れ
ていて楽しそうです。

私たちは、これからも作り
続けてゆくつもりです。



*イランカラフテの会

函館市の「アイヌ文様刺しゅう教室」の受講生を中心にして
二〇〇二年に同好会を発足。
アイヌ刺しゅう工芸家・上武

やす子さん(登別市在住)に指導
を受け、渡島・檜山管内の五十
〜八十代の女性九人の方々が
活動しています。

代表の鈴木ミチさんには、座
の衣裳製作のお願いや相談な
ど、大変お世話になっていま
す。
お目にかかる度に、アイヌ刺
しゅうへの深い愛情と熱い想いに
触れ、勇気を頂いています。

＝公演計画＝ (7月～12月)

《学校公演》

- 7月
 - 14日(金) 標津町・全町小学校
 - 21日(金) 室蘭市・八丁平小学校
- 8月
 - 24日(木) 函館市・中の沢小学校
 - 28日(月) 奈井江町・全町小学校
 - 29日(火) 標茶町・全町中学校
 - 30日(水) 標茶町・全町小学校
- 9月
 - 6日(水) 函館市・中島小学校
 - 7日(木) 滝川市・滝川西小学校
 - 8日(金) 札幌市・上白石小学校
 - 13日(水) 札幌市・石山南小学校
- 2月
 - 3日(土) 斜里町・斜里中学校

《保育園・幼稚園公演》

- 7月
 - 19日(水) 釧路市・昭和どんぐりの家保
 - 19日(水) 釧路市・治水どんぐりの家保
 - 20日(木) 釧路市・愛国弘済会保育園
- 8月
 - 21日(月) 函館市・亀田港保育園
 - 31日(木) 釧路市・かしわ保育園
- 10月
 - 4日(水) 函館市・人見保育園
 - 5日(木) 札幌市・栄町あおぞら保育園
 - 6日(金) 札幌市・川浴保育園
- 11月
 - 15日(水) 札幌市・北の星白石保育園
 - 16日(木) 札幌市・菊水上町保育園
 - 17日(金) 札幌市・白石うさこ保育園
 - 17日(金) 札幌市・しせいかん保育園
- 12月
 - 18日(月) 函館市・花園大谷幼稚園

《特別公演》

- 9月
 - 10日(日) 八雲町・「ふれあい広場」
 - 20日(水) 函館市・まろにえ「敬老会」
 - 《一般公演》…開催予定地を含む
 - 11月
 - 9日(木) 当別町・白樺コミセン
 - 12日(日) 芦別市・市民会館大ホール
 - 26日(日) 上富良野町・かみん
 - 29日(水) 七飯町・文化センター
 - 30日(木) 長万部町・学習文化センター
 - 12月
 - 2日(土) 恵庭市島松・島松公民館
 - 4日(月) 岩見沢市・文化センター
 - 7日(木) 日高町・町民センター
 - 10日(日) 釧路町遠矢・釧路町公民館
- ※ 一般公演の詳細につきましては、
座のホームページでお知らせ致します。

新型トヨタ・コースター
 (ヒックパン9人乗りの
 全長×全幅×全高最大積載量
 6.255×2.080×2.630(1.250kg))



去る3月14日、稚内市での公演を終えて札幌事務所に立ち寄りながら帰座する途中、七飯町からの高規格道路を移動中に最悪の事態が起こりました。：バリバリバリ！！
 ヘリコプターのエンジン音のような、今まで聞いたことのない不快な騒音：まさか！！すぐさま一般道へと降り、騒音に耐えながら何とか本部にたどり着きました。
 私たち(特に公演部)にとつては、公演用機器を運ぶ貨物車としての役割と同時に、長時間の移動中に身体を休める

『公演車募金へのご協力を!!』
 公演用新型車両(トヨタ・コースター)の更新に伴い、皆様からのご支援を心よりお願い致します。

『こぶし座後援会』へ
 是非、ご入会ください!!
 = 機関紙をお読み頂いている皆さんにお願いです =
 この団体は、「こぶし座を物心両面から支え励まし応援していこう…」という仲間達の集まりです。
 現在、全国に700名もの会員がおり、座活動を支える大きな力となっています。
 * 年会費は、2,000円/1口。(何口でも可)
 ~詳しくは、こぶし座本部・後援会事務局まで…。~



場を和ませる新役員の「山田さん」

「後援会総会」報告
 今年も力合わせて
 座の前進を支えよう!!
 第28回総会が5月14日、29人の参加で開かれました。冒頭、座からの挨拶で、JR「四季島」と台湾での演奏の事が話されると「オー」と驚きの声があがり、参加者みんな喜び合いました。
 新年度方針では、座からの訴えー公演車の故障に伴う新型車への切り替えーが行われ、役員会から「公演車募金活動」が提案されました。募金目標を決めて向かおうと言う意見や、これからの座の事を考えた心温まる意見などが沢山出されました。
 最後に、新役員・山田圭寿さんが紹介され、座に寄せる熱い想いが語られました。
 「今年も活動を前進させよう」と気持ちをひとつにした総会でした。

社員・古川喜美子さんが、5月31日、七十三年の人生を静かにとじられました。
 創立間もない頃に入座して、演技者として公演活動の中心的役割を担い、こぶし座の発展に寄与して来ました。二〇〇六年三月の退座後、NPO社員として優しい笑顔を絶やさずに後輩たちのことを気遣い続けてくれました。これまでのこぶし座への力強い尽力に心より感謝し、ご冥福をお祈り致します。どうぞ、ゆっくりとお休み下さい。

編集後記
 四月のNPO総会が終わりあつという間に八月。機関紙発行の月となった。
 広島・長崎への原爆投下から七十二年。被爆者の方々の命がけの闘いが世界を動かすし、核兵器禁止条約が国連で採択された。歴史的な条約！残念ながら日本政府は加盟の意思を示していない。
 これから新たな始まり：と先を見据える被団協の方々の決意に胸を打たれる。
 平和への願いは、一人ひとりの行動によって確かなものとなり繋がっていく。
 想いを新たにする八月です。(正子)